「高松らしい創造都市の姿」検討資料

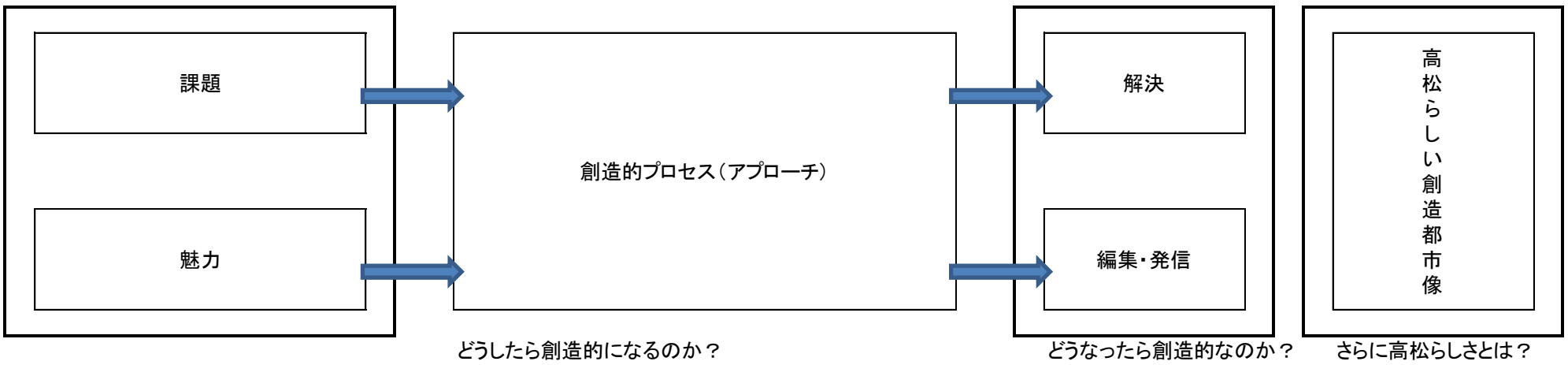
資料６

創造都市とは？

「市民一人一人が創造的に働き、暮らし、活動する都市」（佐々木）

「職人の仕事（OPERA）に込められた生命の発露」（佐々木）

地域が抱える課題を創造的に解決するとともに、地域の魅力資源を創造的に編集し発信することで、地域経済が循環し地域で暮らす人々の生活が豊かになる？



どうしたら創造的になるのか？　　どうなったら創造的なのか？　　さらに高松らしさとは？

課題

（１）高松ならではの地の利・鉱脈の（再）発見・利活用・発信
（２）まちなかと島の連携・交流
（３）市内の地域性を活かした施策・事業の実施／地域内の連携
（４）活動団体・県市・四国４県の連携強化／一体的な取組の実施
（５）東京や世界など外部との連携強化／外部への発信強化／集客強化
（６）一元的な情報管理／受け手のニーズに応えるリアルな情報の発信
（７）市内外まで含めた異業種連携による新商品開発／既存産業からの脱却
（８）中小企業の本社機能の定着・誘致と法制度の改善
（９）集客力のある複合的なイベントの開催・継続
（10）まちなかへのスポーツ施設の（再）整備による集客力の向上
（11）新規就農者の受入／複合的施設の整備を通じた高松らしい農業の振興
（12）食を重視した取組の強化（食育／グリーン・ツーリズム）
（13）歩きたくなるまちづくり
（14）クリエイティブ人材の確保・育成／クリエイティブなマネージャーの確保・育成
（15）創造都市に向けたノウハウのオープン化／専門化の育成
（16）幼少期の創造性を育成する多様な人材との交流／寛容な環境づくり
（17）空き家や廃校を活用したたまり場 兼実験室の確保・整備
（18）スポーツ・文化・芸術を資金面で応援する仕組みづくり

高松の特徴

（１）まちなか・郊外ともに豊かで住みやすい／危機感がない
（２）支店経済が発達／強い本土志向／四国の連携なし
（３）適度に豊富な資源／厚みのある文化土壌
（４）ミーハーで流行に敏感／「せらう」土壌

経済の現状

（１）支店経済の縮小／行政機関は未だ集積／ネットワークの蓄積
（２）貯蓄や収入が少ない若者／定まらない幸福論
（３）共感に投資する傾向／情報過多で本当に共感かは不明
（４）【農業】担い手不足／耕作放棄地と空き家が増加
（５）【観光】観光客が激減／観光地としての魅力の低下
（６）【庵治石】海外競争の激化／他業種への参入は困難
（７）【讃岐かがり手まり】質の高い作品を多様な手段で伝承
（８）【音楽】全国トップクラスの音楽県
（９）【スポーツ】プロチームは多いが、いずれも財政難

例えば

1. 場の創出
（1）高松クリエイティブカフェの創設
・市内各所の創造的まちづくりの情報拠点
・市内各所のクリエイティブ人材のコミュニティ拠点

2. クリエイティブ人材の集積
（1）クリエイティブ人材誘致
※欲しい人材の逆指名

（2）クリエイティブ人材発掘
①市内クリエイティブ人材の発掘
・ライフスタイル本の発刊

（3）クリエイティブ人材育成
①レミダジャパン
・レッジョエミリアアプローチ
②スポーツマネジメントの拠点
・指導者育成

3. 創造経済アプローチ
（1）コミュニティビジネス
①アートな暮らし
・島暮らし
・農ある暮らし
②クリエイティブツーリズム
・オープンハウス高松
・せとうち暮らし巡り

（2）高松インキュベーション
・年収600万円農業
・四国4県ネックレス
・インバウンド（台湾）
・ワールドビジネスアプローチ

4. 編集・発信
（1）瀬戸内国際芸術祭の新展開
①島から市内へ展開
・コミュニティベースのまちづくりを巻き込む
※（例）越後妻有トリエンナーレ

（2）世界規模の工芸祭
・盆栽博
・石の彫刻トリエンナーレ
・瀬戸内国際工芸祭
・クラフトフェア（長野県松本市レベル）

（3）創造都市政策セミナーの誘致
・創造都市ネットワーク日本（仮称）CCNJへの加盟

（4）ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請
・ニューカテゴリーの提案（地域で暮らし続けるために）
（例1）コミュニティデザイン
（例2）ライフスタイルマネジメント

経済がシュリンクする社会が到来し、収入が増えない。人が共感のもとにつながりお金を使わない生活をおくる幸福論の追求が「創造都市」？

高松らしい創造都市の姿

（１）センスの良いまち（NOT 金沢）
（２）交流・集客都市
（３）経済が循環する都市
（４）生きがいのある都市
（５）寛容な都市
（６）瀬戸内海と島の活用
（７）ライフスタイルへの共感

最近の施策・事業の評価
これらは創造的ですか？

（１）再開発事業（丸亀町商店街・サンポート高松・北浜アリー）は危機感の結果／効果は不明
（２）瀬戸内国際芸術祭は対外的に集客に成功／島や瀬戸内海のブランド化／市内経済効果は体感できず
（３）コンパクト・エコシティを目指して地域で活発な議論／全市的な視点や取組が減少
（４）魅力的なイベントや団体が多数存在／小さな勢力が多く、連携なし
（５）四国経済産業局の取組で四国連携が強化
（６）グリーン・ツーリズムの全市的な取組がスタート
（７）庵治石を活用した新商品開発やイベントを実施
（８）海外への志向が強まる盆栽
（９）市内一等地にある四番丁スクエアの活用不足
（10）子育て環境は充実／市民の認知度は低迷

暮らしつづけるために稼ぐ、儲ける。経済的余力が文化芸術を支え文化芸術が都市経済の好循環を生み出すことが「創造都市」？